

- **進行管理・評価**
 - 毎年度「教育委員会が行う点検・評価」を実施しつつ、3年または4年ごとにプランを策定し、進行管理・評価を行うことを追記(p. 6)
- **最も大切に考える考え方**
 - 教育における「幸せ」を具体化し、学ぶ喜び、成長する喜び、人とつながる喜びの3つの喜びで整理 (p. 42)
 - 子どもの「幸せ」について、子どもの権利条約についてふれた文言を追加(p. 42)
 - 個人の「幸せ」に加え、世代を超えた「幸せ」、社会全体の「幸せ」を要素として追加(p. 42)
- **めざす姿**
 - 人がめざす姿：「自己受容、他者貢献、他者信頼、自立、貢献、共生、創造」を子どもにもイメージしやすい言葉にするため、5つのチカラに整理(p. 43)
 - まちがめざす姿：板橋区教育大綱が示す、「いたばし全体を学びのキャンパス」を、新たな要素として追加 (p. 39, 43)
 - いたばし全体を学びのキャンパスへと広げるためのロードマップを追加(p. 40)
 - 上述を合わせて、「MIRAI SCHOOLいたばし」をめざす姿として整理(p. 43)
- **行動指針**
 - 「つなぐ、つながる、つなげる」について、区長部局も含めた組織横断の視点、過去から未来への縦のつながりの視点を追加(p. 47)
- **施策**
 - 施策数の変更 (14施策→13施策) (p. 49)
 - 「デジタル技術の活用」削除、「読書活動の充実と「絵本のまち板橋」の推進」の「絵本のまち」に関する部分を削除
 - 「デジタル技術の活用」は、他の施策と重複するため、各施策に吸収させて、施策としては削除
 - 「絵本のまち板橋」は、板橋区基本計画において整理することとし、施策から削除
 - 板橋区基本計画と整合を図った成果指標を追加 (p. 53~105)

前回からの主な変更点

前回（第5回検討委員会）ご提示した資料

基本的な考え

教育は何のためにあるのか

教育は人が幸せに生きるためにある

私たちは何をめざすのか

自己受容

ありのままの自分を受け入れること

他者信頼

よい人間関係を持っていること

他者貢献

人や社会に貢献していること

自立

自ら考え判断し、行動する

共生

他者の話に耳を傾け、力を合わせて問題を解決する

貢献

他者や社会のためになることを進んで取り組む

創造

ゼロからイチを創り出す

私たちはどのように行動するのか



施策体系

将来の姿	方向性	施策	
<p>子どもが、一人ひとりのちがいを認め、様々な価値観をもつ人と協働しながら、よさや可能性を伸ばしています。また、自分の望む未来に向けた学びを選択し、豊かな経験を積み重ねながら成長し、幸せを実感しています。</p> <p>すべての子どもの学びを保障するために、子どもを支える様々な主体が連携・協働し、子どもが安心・安全に学び、成長できる環境を創り出しています。また、様々な体験機会を提供し、子どもの豊かな心をはぐくむことで、子どもの未来の選択肢を増やし、可能性をひろげています。</p> <p>多様な学びを通して、子ども大人も教え学び合うことで、人と人、人とまちが「つながり、人と社会の幸せが実現しています。」</p>	<p>多様な学びの実現</p>	<p>豊かな遊びと体験を通じた幼児期の学びの充実</p> <p>保幼小接続・小中一貫教育の推進</p> <p>確かな学力の育成</p> <p>豊かな心と健やかな体の育成</p> <p>特別支援教育・日本語指導・経済的支援等多様な教育ニーズへの対応</p> <p>安心・安全に学べる居場所の確保</p> <p>教員の育成・働き方改革の推進</p> <p>新しい時代の学びを実現する学校環境の整備</p> <p>学校・家庭・地域の連携・協働</p>	
		<p>子どもの学びや成長を支える人や環境の充実</p>	<p>生涯学び・活躍できる環境の整備</p> <p>読書活動の充実と「読本のまち板橋」の推進</p> <p>文化財の保存・活用</p>
		<p>生涯にわたり共に学び支え合う教育の推進</p>	<p>デジタル技術の活用推進</p> <p>教育施策の蓄的な推進</p>
<p>教育活動を支える基盤づくり</p>			

今回の最終案

基本的な考え方

最も大切にしている考え方

教育は人が幸せに生きるためにあります

教育を通して、学ぶ喜びや成長する喜び、人とつながる喜びを感じられる一人ひとりの生涯

私たちは何をめざすのか

MIRAI SCHOOL いたばし

すべての教育施策を通じて、区民一人ひとりが学び教え合う中で「5つのチカラ(=MIRAI)」をはぐくみ、「いたばし全体を学びのキャンパス(=SCHOOL)」へと広げていきます

- Motivation / 自分らしく進むチカラ** ありのままの自分を受け入れることで、仲間とともに成長し、未来に進む原動力を持つことができる。「心のあり方」を育てるチカラ。
- Inclusion / 認め合って生きるチカラ** 個性や立場が違っても、人の話に耳を傾け、力を合わせて問題を解決できる。「共生」へのチカラ。
- Relation / つながり助け合うチカラ** まわりの人を助けるために、社会に貢献するために、自分ごととして誰かのためにできることを探し行動することができる。「貢献」へのチカラ。
- Activation / 自ら行動を起こすチカラ** やるべきことを、自ら考え、判断し、自分から挑戦することができる。「自立」へのチカラ。
- Innovation / ゼロから切り拓くチカラ** 目に見えない課題に気づき、正解のない課題でもゼロからイチを創り出すことができる。「創造」へのチカラ。

私たちはどのように行動するのか



施策体系

